

SSKA

全国パーキンソン病友の会会報

茨城県支部だより



第 5 2 号  
平成 1 2 年  
( 2 0 0 0 年 )  
1 2 月 8 日

全国パーキンソン病友の会茨城県支部  
〒三手〇〇二八 石岡市若松一七五  
TEL & FAX 〇二九九(二二) 五五八〇  
郵便振替 〇〇三〇〇一四一三八〇四二

目次

- \* 支部結成一五周年記念患者・家族交流会の挨拶 ..... 二
- \* 交流会に参加出来ない方々の近状 ..... 三〇四
- \* 交流会に参加した方々の感想文 ..... 五〇七
- \* パーキンソン病とのお付き合い ..... 八
- \* パーキンソン病治療薬の副作用とその対処法 ..... 九〇一五
- \* 新会員の紹介・訃報 ..... 一五
- \* 新聞記事 ..... 一六〇一九
- \* 事務局だより ..... 二〇
- \* 編集後綴 ..... 二〇

一九七一年八月七日第三種郵便物許可(毎月六回 日・六の日発行)  
二〇〇〇年一月二日発行 SSKA増刊返巻第三七三三号

## 支部結成15周年記念患者・家族交流会の挨拶文

茨城県支部長 清水 昇勝

お集まりの皆様、今日は、お身体の大変なところ、支部結成15周年記念患者・家族交流会にご参加下さいまして、ご苦労さまです。

今日は、日赤水戸病院の小原先生、国立水戸病院の吉沢先生、それに薬剤師の山田様、介護福祉士の飯沼様をお迎えして交流会を行います。

次に、友の会の状況をお話しましょう。ここの施設は昭和61年に参加者21名で第1回の交流会と平成4年に37名参加して第7回交流会を行いました。今回で3回目利用です。

茨城県支部は昭和61年3月に86名で発足しました。それから15年過ぎまして当時の会員は11人です。現在の会員は127人と成りました、まだまだ沢山の未加入の患者さんがおります。そのためにも、魅力ある患者会として努めなければなら

ないと思っています。皆様のご協力をお願い致します。

尚、しおりの最後の頁に紹介してあります、パーキンソン病患者と家族を励ます歌「ふれあい音頭」は全国会報77号の編集後記にパーキンソン音頭でも作りませんか、と載っていた、それに答えて、会員の守谷町在住の益田さん（北原純）作詞・作曲したものです。ご本人は以前プロの歌手で現在歌謡教室を経営しており、傍ら、県南地方の福祉施設に歌の慰問活動をしておられます。

昨年は同教室から、カラオケ大会の収益金を当支部へ贈呈されました。

最後に、今日参加の皆様におかれましては、有意義な交流会でありますよう心から希望して挨拶とします。



全国パーキンソン病 友の会 平成12年10月14日 於 いこいの村潤沼

## 交流会に参加出来ない方の近状

NO. 1

水戸市・M

いつもお世話になっております、残念ですが都合により欠席させていただきます。不自由な毎日ですが頑張っております。

水戸市・N

色々とお世話になります。この度は都合にて欠席となります。

ひたちなか市・I

体調を崩し、ヘルパーさん(週1回)の来る日もキャンセルしています。まだ1度も交流会に参加したことがないので本当に出席したいのですが、当日は良い天気になるとよいですね。

日立市・K

何時も参加する事も出来ませんで申し訳御座いません。

日立市・K

転ぶ回数が増えました、目がはなせない毎日です皆様に宜しく。

日立市・N

体調があまり良くなく、10年近くのものでいた薬を替えました。薬がなれる迄苦労するようです。申し訳ありませんが欠席します。

日立市・K

入院中のため欠席します。

土浦市・I

歩行困難の為不参加致します。

つくば市・S

4月より、月火水金とテイサービスに行っています。木曜日は訪問リハビリを受けています、飲み込みが悪くなる場合があります。

笠間市・S

元気でやっています。よろしく願います。会が盛会であることを祈ります。

笠間市・N

お世話になっております。最近はやがて寝たきりの状態にて申し訳ございませんが欠席させていただきます、出席出来た頃が私どもにとっては最良の時でした、出席出来ない事が残念でなりません、皆様に何卒宜しく、当日のご盛会をお祈り申し上げます。

牛久市・I

歩行困難のため。

牛久市・I

いつも不参加で申し訳ございません、歩行障害があり不参加致します。

取手市・K

6月23日に入院、9月3日に退院して現在自宅で療養中です。

東町・T

いろいろとお世話様になりありがとうございます、こここのところ体調が悪く入院中なので参加出来ませんので、皆様に宜しくお願い致します。

## 潮来町・S

いつもお世話様になり有難うございます、この残暑のなか元気でおりましたのに、9月22日の夜、発熱、23日入院しました。脱水症状、点滴をしております、食事は取れるように成りました。皆様にお逢い出来るのを楽しみにしておりましたのに残念です、綿引さんにリホームの件でご親切にお話頂きました。介護保険の中で出来る範囲でとても日常生活も楽に成りました。

## 藤代町・K

症状が徐々に進行しております、それに腰痛で困っております。

## 茎崎町・K

相変わらず歩行困難で車椅子の世話になっております。

## 石下町・Y

6月20日入院、食べ物を飲み込めない、腹へパイプを入れ、それで栄養補給の状態です。歩行困難、今月中に退院予定、居宅介護の方針、家族、兄弟全員援助してくれるので強みです。

## 関城町・Y

暑い夏もどうにか体調を崩さずに乗り越える事が出来ました。折角の交流会ですのに参加できず、申し訳ございません。どうにかして参加させたいと思っておりますが、他の人に自分の姿を見られるのが嫌いなのでどうすることも出来ません。

会報は楽しみに読んでいます。ご盛会をお祈りしています。

## 守谷町・M

拝啓、毎々お世話になりまして有難うございます。実は私の歌謡教室から21目のプロ歌手が11月にデビューすることになり、それに先立ち、10月15日に地元でのご披露のコンサートを取手駅ビルの5階クリスタルホールで開く予定ですので、勝手ながら欠席させていただきます。

誠に申し訳ありません。皆様に宜しくお伝え下さい。 敬具

## 大宮町・S

日頃は何かとお世話になって居ります、家事都合により不参加させていただきます。

## 笠間市・I

主人はアルツハイマーで、自動車は運転できません。私は2本の杖でようやく歩んでいる、嫁に行った娘とも遠いのでつれて行ってもらいたいのですが無理なようです、近くでお集まりが有りましたら、参加させていただきます。

## 水戸市・W

毎度お世話様です、早速ですが現在入院中で退院許可が不明のため欠席させていただきます。

## 笠間市・O

都合が悪いので不参加致します。

## ひたちなか市・K

ご苦勞様です、次回の機会がありましたら、参加させていただきます。



## 交流会にた方々の感想文

### 素敵な笑顔

介護保険ケアマネージャー

飯沼 尚子 先生

虫の音に秋の深まりを感じる今日この頃、ご多忙な日々をお過ごしのことと拝察申し上げます。

先日は貴支部結成15周年記念患者・家族交流会にお招きいただきまして本当にありがとうございました。

ご病気とは思えない、お元気な支部長明るくさわやかな奥様、そして皆様のステキな笑顔を拝見し、また、色々なお話を聞かせていただき逆に私の方が、お勉強をさせていただき、勇気づけられてしまいました。

患者さんの為、介護されるご家族の為にと、寺門先生がお声をかけてくださったにもかかわらず、勉強不足で皆様のお役に立つことができず、申し訳ございません。

友の会の皆様の今回のような楽しい交流会をはじめ様々な活動のご成功と一層のご自愛のほどをお祈り申し上げます。

### 新作“ふれあい音頭”のように

笠間市 綿引 義男

秋晴れのよい日和に、青く澄む酒沼のほとりで、結成15周年記念患者・家族の交流会が実施できました。参加された皆さんのにごやかな顔を拝見できまして何よりうれしく思いました。

難病といわれてますパーキンソン病が、全快を期待できないだけに、皆さんの今までのご苦勞が如何ばかりかと、その思いを推察致しておりました。

同じ病気を持つもの同士が一同に集い共通の悩みを語り合えることができまし

た、大きな力になったと思っております。遠く千葉県からもご出席いただきまして、その熱意に感激致しました。

講師の先生からは、患者・家族の真の声を丁寧に聞いていただき、適切なお助言を賜りまして、ありがたい思いで一杯でございます。先生方の一言は、まさに金言であります。

夜の懇親会には、参加出来ませんで残念でしたが、皆さん、更に親交を深めて素晴らしい一時であったと想像致しております。

時には「ふれあい音頭」などを口ずさみながら、あの歌詞のように、病気に負けない意気込みで生きていこうではありませんか。患者皆さん病状進行の遅からんことをお祈りしております。

### 交流会に参加して

水戸市 大森 信枝

交流会では大変お世話になりました。幸い天候にも恵まれ落後者もなく終りましたことは何よりと思えます。

ただ欲を言えば、結婚式と重なり一時は座る椅子にもこと欠き。身体の不自由な私達は本当に困ってしまいました。

又、バス、トイレ、階段などに「手すり」が欲しいと思いました。それからもう一つ我がまを申し上げますと、昼食も夕食も「おさし身」主体で、おさし身が喰べられない私は少し情けない気分になり、ご無理かもしれませんが事前に、好きらしいに就いてアンケートをいただき一品でもたべられる料理があったらと思いました。この点翌朝のバイキング朝食は本当に嬉しくなりました。

勝手なことを申し上げます。

### 千葉県より参加して

小見川町 高田 とみ

先日は、大変お世話になりました。何の面識もない私達を支部長さんは二度も三度も皆さんに紹介して下さいました。

偶然日赤の病院の待合室で知った、この会のある事、締切日の過ぎたあわただしさの中での参加となりましたが、同じ病気の人達が自分の身の廻りにこんなに大勢いた事、大勢の人の頑張っている事、勇気がわいてきたように思います。

人のためにこんなに心身になってお世話して下さいました、役員の皆様ありがとうございました。

私達患者は皆そう思って心の中で手を合わせております。

皆さんこれからは寒くなってまいります。私達患者には辛い日となりますが、頑張りましょう。また、お会いする日を楽しみにさようなら。

### 有意義な一日でした

牛久市 川口 弘容

10月14日の交流会は大変有難うございました。私にとって有意義な一日でした。先生に日頃疑問に思っている事も質問出来ました。

私は慶應大学の神経内科に四週間に一回通院していますが、外来は午前中で90名程度の患者数なので、1人2分以内の診察になります。経過と何か注文がある場合は経過メモに特記事項として記入して、先生に伝える様にしています。

一つ注文しています。足の歩行改善・口頭で頭痛は筋収縮性頭痛が多く、首・肩・頭部の筋弛緩薬として「ミオナール

ヤアフト」を使うが、もう暫く待ってとの事で納得しました。(10月の診察時間は1分50秒でした)

### 前向きに生きよう

水戸市 関 和子

先日は、大変お世話になりました。

初めての、交流会に出席でしたので緊張して出かけたのですが、係りの方々の温かくゆき届いたお世話にすっかり安堵し有意義な一日を過ごす事ができました。

特に、吉澤先生を囲んでの話し合いは私にとって大変参考になりました。病院での短い診察時間ではなかなか聞けず不安材料を抱えて暗く落ち込んでしまう毎日ですが、質疑応答の中でいくつか解決できたことがあります、すっきりしました、できれば一泊して会員の皆様と交流を深めれば得るものが、もっとあったのではないかと思います。

用意して頂いた資料も大変わかり易く参考になりました。

友の会会報77号の水野先生の講演内容と併せ自分の病気がどの様なものであるかもつかめてきました。「どうしても受け入れられないこの病気」との思いから少しずつ前向きに生きようという気持ちが芽生えてきたと思います。

会長さんはじめ、食事やお茶の用意などてきばきと会を盛り上げて下さった係の方々に深く感謝申し上げます。



### 温かい雰囲気にも包まれて

水戸市 大橋 清子

先日は患者・家族交流会に参加させて頂きまして、いろいろお世話になり有難うございました。

「いこいの村酒沼」はきれいな施設で前に広がる酒沼も大きく感じました。

久しぶりに皆様にお会いできまして、懐かしく、また、楽しい一時を過ごすことができました。

吉澤先生の医療座談会は大変有意義でした。お忙しい中にもかかわらず、私達のために、ご丁寧にお話下さいました。

毎日心配していた事を直にお伺いすることできてありがたかったです。

よい企画をして頂きまして感謝しております。

交流会では、いつもながら温かい雰囲気に包まれて幸せを感じました。今回は日帰りにさせて頂きまして申し訳ございませんでしたが早々と皆様とお別れしなければなりません残念に思いました。

支部長様をはじめ役員の方々の多大のお骨折りにお礼申し上げます。

### 好天にも恵まれて

匿名

10月14日(土)の患者・家族の交流会は大変好天にも恵まれとても楽しく過ごすことができました。ふだん中々お会いできません親しくなったお友だちとも病気を通してお話することができ久振りにほっといたしました。

又、支部結成15周年の記念としての催しの計画内容としても本当に患者のためになる「医師から患者さんへのメッセージ」としてのパーキンソン病の治療と薬につ

いての知識やその他のメモ欄等きめ細かい準備や、お医者様との懇談会等、今まで不安がちだった事についての説明が明るい見通しになってきたようでございます。

いただきました資料をよく読みなおし、これからの治療ともども参考にして気をつけて参りたいと思っています。

係の皆様にも大変お世話になりました。

日帰りコースの一時ではございましたけれど非常に有意義な一日でございました。

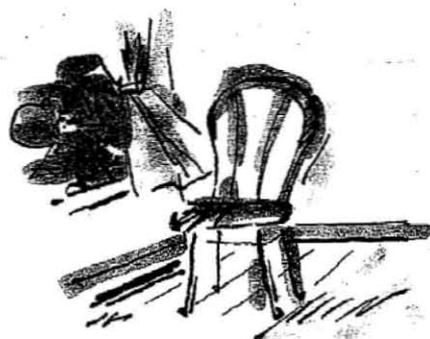
### 納得の得る点が多かった

匿名

この度、支部結成15周年記念行事として医師を招き質問応答の形式で誰もが悩みをかかえている点にふれられ納得の得る点が多くありました。一泊してゆっくり家族的な雰囲気にふれ心の窓を開いてすっきりした気分になりました。ただ現地について、ロビーで難病患者の集まりであることは百も承知であるところなのに長い間立たされ椅子等の用意位して欲しい気がしました。

15周年という事で4月から支部長さんを始め役員の方々の並々ならぬ御骨折りと気くばりをして頂き本当にありがとうございました。

今後共お体に気をつけてどうぞよろしく願いいたします。



# パーキンソン病とのお付き合い

つくば市 小林 洋子

“何だか変だな？”と、ふと感じたのは平成3年の春ごろだったと思う。右手と右足が震えている。私は貧乏ゆすりの癖はないからそれとは違う、車のアクセル・ペダルを踏むのに力が入らない、文を書くとき曲がるし段々小さくなる、どうもこれは単なる老化現象とはちがうようだ、そんなことを考えていると、気功の先生が「洋子先生、病院で診てもらいなさい」と言って下さったので、メディカルセンターへ行った。

その結果私の病気は、パーキンソン病で、死ぬ病気ではないが、治らない病気だとも言われた。そう言われて初めのうちは落ち込んだが、病気というものは自分の力で直すものと言われた事を思い出して、いわれたことは片っ端から試みて見た。幸い、仕事を続ける事はできたが車の運転には自信がなくなった。

週に一回常磐高速を往復するのが大変だと、周囲の友人たちが心配した。心配してくれる友人の気持ちを大切にしたいと、定年まで後一年を残して退職した。

これで病気と付き合う時間が十分に取れると思ったが忙しく過ごしてきた数十

年の習慣から抜けられなくて結構忙しく過ごしている。でも、自分の事が何でもできるという元気と気持ちとがあれば病気とうまく付き合う事もできそうだ。これとこれとこれもできないと思わないで、あれもこれもまだできと思ったほうが希望が持てると思う。

病気の症状はその人によって千差万別なので、薬その他の方法も、人によって様々である。

ご参考までに、私の試みているものについて述べてみる。気功、太極拳、アクアビクス（水中歩行）遠赤外線サウナ、電流治療、薬など、気功太極拳は人間の持つ潜在能力を活性化するもの、アクアビクスは体重が軽くなって、運動がしやすくなる、サウナは、血行を、よくする（パーキンソン病が治ったという報告もある）電流治療は血流をよくする。薬は大学病院からのもの。

平成3年ごろからいままでのうちでいまが一番調子がよい。

人間先のことは分からないが生きていく限り一日一日を大切に、楽しく過ごしたいものである。



# パーキンソン病治療薬の

## 副作用とその対処法

北野病院神経内科副部長 仲下 まゆみ 先生

パーキンソン病の治療では、いくつかの薬を組み合わせ、症状をうまくコントロールすることが大切です。その際、やはり気になるのが副作用のこと。特にパーキンソン病の治療薬のように、長期にわたり続ける場合には、副作用をどう緩和し対処するかが、患者さんの生活の質を左右する重要なカギとなります。

そこで今回は、パーキンソン病の治療で使われる薬の副作用の内容とその対処法について、北野病院の仲下まゆみ先生に伺いました。

### パーキンソン病治療薬の作用と副作用

— 薬の副作用の話に入る前に、まずパ

ーキンソン病の治療薬の種類について、教えてください

仲下— 現在、日本で使われているパーキンソン病の治療薬は、作用の違いから「ドーパミン補充薬」「ドーパミン受容体刺激薬」「ドーパミン放出促進薬」「抗コリン薬」「ノルアドレナリン補充薬」「モノアミン酸化酵素阻害薬」の6種類があります(表1参照)

この中で、脳内(線条体)に不足しているドーパミンを補う「ドーパミン補充薬」のL-ドーパが、薬物治療の柱になる薬です。

表1 パーキンソン病治療薬の主な種類

分類(種類)	一般名	主な商品名
1.ドーパミン補充薬		
・L-ドーパ単剤	L-ドーパ	ドバストン、ドバゾール、ドバール
・L-ドーパ合剤	◇	メネシット、ネオドバストン、マドパー、ネオドバゾール、イーシードバール
2.ドーパミン受容体刺激薬	プロモクリプチン 麦角製剤	パーロデル ヘルマックス
	ヘルゴリド	ヘルマックス
	カベルゴリン	カバサール
	非麦角製剤	タリベキソール
3.ドーパミン放出促進薬	アママンタジン	ドミン
4.抗コリン薬	トリヘキシフェニジルなど	シンメトレル
5.ノルアドレナリン補充薬	ドロキシドパ	アーテン、アキネトン、パーキン、トリモール
6.モノアミン酸化酵素阻害薬	セレギリン	トプス エフビー



—— Lドーパには、単剤と合剤がありますが、どこが違いますか？

仲下——「Lドーパ」は、脳に到着してからドーパミンに変わる薬ですが、とても分解されやすく、体内で壊れてしまって、肝心の脳の中には、ごくわずしか達することかできません。そこで、体内での分解を防ぐ酵素（ドパ末梢性脱酵素阻害薬）を配合したものが、Lドーパの合剤で、この「Lドーパ合剤」が今は主流として使われています。

それから、6番目にあげた「モノアミン酸化酵素阻害薬」の「セレギリン」（オフェピー）も、ドーパミンの分解を遅らせて、「Lドーパ」の効きめを長持ちさせる薬です。

——ほかの4種類の治療薬には、どんな作用がありますか？

仲下——「ドーパミン受容体刺激薬」は、ドーパミンを受け取る場所に作用して、ドーパミンと同じような働きをする薬です。これには、「プロモクリプチン」（パーロデル）と「ペルゴリド」（ペルマックス）「タリベキソール」（ドミン）また新しく発売されたカヘルゴリン（カバサル）の4種類があります。

次の「ドーパミン放出促進薬」としては、もともとはウィルス治療薬である「アマンタジン」という薬があります。

一方、ドーパミンの不足によって起こる脳内のアンバランスを解消するための薬もあります。それが「抗コリン薬」です。脳の線条体には、ドーパミンとアセチルコリンという神経細胞がバランスよ

く存在しています。ところがパーキンソン病になると、ドーパミンが不足するため、相対的にアセチルコリンが多くなってしまいます。この働きを抑えるのが「抗コリン薬」です。また、病気の進行に伴い減少するノルアドナリンという神経伝達物質を補う薬が「ノルアドレナリン」（ドプス）という薬が使われます。

——パーキンソン病の治療薬は、副作用が現れやすい薬と言われていますが、その点はいかがでしょう？

仲下——そうですね、確かにパーキンソン病の治療薬は、脳内に入り込んで作用することと、長期に服用を続ける必要があることから、一般の薬に比べると、ある意味では副作用が現れやすい薬といえるかもしれません。ただ、薬は、もともとそういう性質を併せ持っているんですね。パーキンソン病の薬の場合、副作用は出やすいものの、症状をコントロールするためには、薬の服用を止めるわけにはいきません。

それだけに、薬の作用と副作用を天秤にかけ、薬の種類や量を調節しながらバランスをとっていくことが、特に大切になるわけです。

#### 現れやすい副作用の症状とは？

——では、パーキンソン病の治療薬で起こりやすい副作用には、どんなものがありますか？

仲下——まず、飲み始めのころに起こりやすいものとして「消化器症状」があ

表2 パーキンソン病治療薬の主な副作用

レドopa単剤	消化器症状(吐き気、嘔吐、胃部膨満感、食欲低下) 精神症状(抑うつ、幻覚 <sup>1)</sup> 、いらいら感、頭痛、不眠) 神経症状(口、手足、体幹のジスキネジア <sup>2)</sup> 、足のジストニア <sup>3)</sup> ) 立ちくらみ、動悸など
レドopa合剤	レドopa単剤に比べ、消化器症状や動悸は少ないが、 ジスキネジアは多い。精神症状は同程度
パーロデル	消化器症状(吐き気、嘔吐、胃部膨満感、食欲低下)
ペルマックス	精神・神経症状(ジスキネジア、幻覚、めまい、頭痛、不眠)
カバサル	立ちくらみ、動悸、口渇など
ドミン	精神症状(眠気、幻覚、妄想、不安、頭痛、不眠) 神経症状(ジスキネジア、めまい) 消化器症状(吐き気、食欲不振)など
抗コリン薬	口渇、便秘、排尿障害、かすみ目 精神症状(幻覚、せん妄 <sup>4)</sup> 、錯乱)
シンメトレル	足のむくみ、皮膚の網の目文様、口渇、動悸 精神症状(幻覚、不眠、いらいら)など
ドプス	吐き気、嘔吐、頭痛、めまいなど
エフピー	消化器症状、精神症状、ジスキネジアなど

- 1) ないものがあるように思えること。幻視や幻聴などの症状がある
- 2) 自分の意志ではないのに、手足や口、首などが、勝手に動くこと
- 3) 足が持続的にひっぱったり、ひきつけるような運動のこと
- 4) 軽い意識障害が起きて、興奮や、幻視などが見られる状態

げられます。胃に不快感があったり、食欲がなくなる、また吐き気が強く現れるといった症状ですね。

また、長期に服用を続けている方では抑うつやいらいら感、不眠、幻覚、妄想などの「精神症状」が現れたり、排尿障害や便秘、立ちくらみなどの「精神神経症状」自分の意志とは関係なく体や手足首などが動くジスキネジアなどの「神経症状条」があります。

—— 薬の種類によっても、起こりやすい副作用は違うようですが ——

仲下 —— ええ、薬によって多少違いがあります。上の表(表2)に、薬の種類

と主な副作用をまとめたので、順に説明しましょう。

まず、レドopaでは、吐き気や食欲低下などの「消化器症状」抑うつ感や幻覚、幻視、いらいら感などの「精神症状」手足や体幹のジスキネジア、また立ちくらみなどが報告されています。

単剤に比べると、合剤の方が、消化器症状は少なく、ジスキネジアは多いという違いがあります。

次の「ドーパミン受容体刺激薬」の「パーロデル」と「ペルマックス」は、薬が麦角構造を持つため、吐き気や嘔吐と行った消化器症状が、もっともよく起こります。一方、非麦角構造の「ドミン」は、消化器症状は少ないですが、精神症

状の中でも、特に眠気の頻度が高いが報告されています。

さて、次の「抗コリン薬」ですが、これは副作用が起こりやすい薬といえます。「抗コリン薬」は、ふるえ（振戦）の症状によく使われるんですが、体内の分泌や消化器官の運動を抑える作用があるため、のどが渇いたり、便秘、排尿障害といった副作用を引き起こしやすいんですね。また、高齢の患者さんでは、幻覚やせん妄、錯乱などの精神症状を起こしやすいので、十分注意しなければいけません。

また、「シンメトレル」（アマンタジン）は、皮膚に網目状の模様が現れたり、足がむくむといった症状や、幻覚や不眠などの精神症状も起こります。

「ドロキシドパ」（ドブス）は、消化器症状や、精神症状やジスキネジアなど報告されています。

#### 副作用の現れ方はひとそれぞれ違います

—— いろいろな副作用がありますがこうした症状は、誰もが、現れるのですか？

仲下 —— いいえ、そんなことはありません。薬の効き方がみんな違うように、副作用の出かたもかなり個人差があって頻度や程度も、かなり差があるのが普通です。たとえば「抗コリン薬」を1日に半錠飲むだけで、口の渇きを訴える方がいれば、1日に2錠飲んでも、口の渇きが気にならないという人もいます。また、同じ薬を飲んで、「眠れない」と不眠を訴える方がいるかと思えば、逆に「眠気が強くなってしかたがない」という方もいる。それくらい。薬の感受性は、まちんですよ。

—— 実際に飲んでみないと分からない場合もあるわけですね

仲下 —— ええ。どのよあな副作用が現れるか予想はできますが、本当に現れるかどうかは、服用してみないと分からないことが多いんです。

—— 男女差や年齢の差については、どうですか？

仲下 —— 男女差は、あまりないと思うんですが、比較的若い人と比べると、高齢の患者さんでは、精神症状や自律神経症状などの副作用が現れやすい傾向があります。体や脳の状態は、若い方と高齢者ではやはり違いますからね。特に痴呆や物忘れのような症状は、薬の副作用とばかりは言えないこともありますから、こうした点も含めて、十分な配慮と観察が必要といえるでしょう。

気になる症状が現れたら、すぐ主治医に相談しよう

—— 副作用の中で、特に注意が必要なものがあたら教えて下さい。

仲下 —— 一番は、やはり「精神症状」ですね。

パーキンソン病の、治療薬で起こるものは、わりに良形で、徘徊したり、暴力をふるうなど、他人に害をおよぼすようなことは、多くありません。また、個人差はありますが、幻視や幻覚などの、症状も、夜だけに起こりやすいです。夜だけ「誰かが来ている」とか「虫がいる」とか。それに、昼間はまた普通に戻っているパターンが結構多いのです。軽い場合は、様子を見るだけになることもあり

ますが、程度によっては、薬を減量したり中止して別の薬を使うなど、服薬の調整で改善されることもあるので、精神症状が現れたら、主治医に相談していただきたいと思います。

—— ジスキネジアなどの付随意運動はどうですか？

○ 仲下 —— 付随意運動は、初期に出にくいんですが、病気が進行して、L-ドーパの量が多くなると出やすくなります。

L-ドーパという薬は、体内で吸収されて血液から脳に入る時の「血中濃度」が、すごく重要なんですね。理想的なのは、脳内の血中濃度がずっと適正に保たれることですが、病気が進行すると、血中濃度の変化で病状が大きく変わりやすくなります。ジスキネジアは、濃度が上がりすぎたときに現れやすく、また濃度変化が大きい時も、現れる症状です。もちろん、程度が軽ければ特に問題はありませんが、ひどくなってくると、首がすごく揺れたり手足がバタバタと動いて、食事や歩行がしにくくなり、負担も多くなりますね。この場合も服薬を調整することで軽減できる場合もあるので、主治医に相談してください。

○ —— では、吐き気や嘔吐などの消化器症状についてはどうでしょう？

○ 仲下 —— 吐き気や嘔吐は、副作用の中で一番多い症状です。でも、これで重大な障害が起こることはありませんし、服用を続けるうちに体が薬に馴れて、治ることも多いんです。ですから、症状の

軽い患者さんには「がまんして続けてみてください」と説明しています。それでも、吐き気が強くて、食事をまったく受けつけられないような時は、吐き気止めの薬を処方してもらうなど、適切な対策を講じることで、うまく乗り切れる場合も多いので、試されてもよいと思いますよ。

—— 便秘も、つらい副作用だと思いますが ——

○ 仲下 —— パーキンソン病の人は、もともと便秘気味の方が多いんですが、やはり薬の副作用で便秘がさらにひどくなる場合もあります。便秘が長く続くと、薬の治療効果が悪くなりますし、特にご高齢の方では、腸閉塞になる危険性もあるので、医師に相談して、自分にあった便秘薬を処方してもらい、できるだけ便秘の解消に努めることが必要です。

○ —— やはり気になる症状があったら、主治医にきちんと伝えることが先決ですね

○ 仲下 —— そうですね。場合によっては、がまんしていただくてはいけないとありますが、「この程度なら大丈夫」と説明されただけでも、安心感が違いますでしょう。ただ、限られ診察時間の中では、副作用のことばかりに長い時間を割くわけにはいきません。要領よく伝えていただくため、事前に副作用と考えられる症状や疑問点をメモ書きして見せるようにしていただくと、とても助かります。

## 副作用を経験させるアドバイス

—— 副作用対策として、最も大切なことはなんですか？

仲下 —— 一番大切なのは、どの薬によって副作用が起きているかを、チェックすることです。その上で、患者さんの病態にあった薬の種類・服用量、服用回数を調整していくことが基本だと思います。

ただ、作用と副作用を天秤にかけた場合もありますね。そんなときは、副作用を抑え薬を出してもらってもいいと思います。例えば、吐き気が強い時は、制吐薬を処方してもらったり、立ちくらみなどの副作用がひどい人は、血圧を上げる薬が有効な場合もあります。制吐薬の中には、パーキンソン病の症状を悪化させるものもありますが、「ドンペリリドン」（一般名）という制吐薬は、こうしたことが少ない薬です。

—— 一度に多くの薬を飲んで、問題はないのでしょうか？

仲下 —— 併用薬の種類によっては、作用が拮抗して、パーキンソン病薬の働きを弱めてしまうものもありますが、神経内科の先生だったら、どんな薬がいいかだいたい把握しているので、心配ないと思います。

それでも薬を多く飲むことに抵抗がある場合は、主治医から、服薬を調整していい薬はどれかを聞いておいて、副作用が治ったら、その薬の服用を控えることを検討されてもいいでしょう。

—— 眠気が強くて、職場でウトウトしてしまい、「やる気ない」と非難される患者さんもいるようですが ——

仲下 —— それはつらいですね。こういう場合も主治医の先生に相談し、眠気を起こしている薬がどれなのか、まず突き止めることが必要だと思います。パーキンソン病の治療薬や制吐薬の中にも、眠くなる薬があります。そして、原因となる薬を変えたり、服用量が少なくすむように処方してもらいましょう。

それから、パーキンソン病の患者さんにとって、睡眠や休息はとても大切です。不眠がある場合には、昼間よく動くようにして、夜眠りやすい状況にしてみてください。どうしても眠れない場合は、睡眠薬を処方してもらってもいいかもしれません。

—— その他、注意することは、ありますか？

仲下 —— これは重要な点ですが、副作用が気になるからという理由で、医師に相談もせず、勝手に薬を中断することは、絶対にしないでください。特に、長期間薬を服用している人は、急に薬を止めることは禁物です。治療薬を勝手に中断すると、高体温になって意識障害が起こる「悪性症候群」という病態に陥ることがあり、命にかかわる場合もあるからです。たとえ風邪を引いても食欲がまったくなくても、下痢をしていても、また風邪薬を飲んでいる時でも、パーキンソン病の薬を自己判断で止めないことこれだけはしっかり守って頂く事が大切です。

—— やはり薬のことは、主治医の先生と二人三脚で進めることが肝心でかね。は、最後に先生から患者さんへメッセージをお願いします。

仲下 —— 薬の作用と副作用は、いわば裏表の関係です。この表のいい面が長く発揮できるように使い方を十分工夫していく、それが最も重要なことです。中には、副作用に気をとられるあまり、具合が悪いのは、すべて薬の副作用と思い込まれる方もいらっしゃいます。でも、薬がなくては、有効な治療はできませんし、薬を調整することで改善できる場合もあるので、不安に思ことがあったら、主治医の先生に相談してください。一人で不安

を抱え込まずに、口に出して言うこと、そして薬を正しく理解することが、不安の解消につながります。また、ご家族の協力や励ましも、とても大切ですから、患者さんが安心して服薬できるように、心配りをしてあげてください。

悪い面ばかりでなく、良い面をできるだけ見ていながら、充実した毎日を送るために、薬を大いに役立てていただきたいと思います。

—— ありがとうございました

「マックス」編集部のご厚意で「マックス」第14号2000.3発行より転載しました。

## 新会員の紹介 (敬称略)

平成12年5月6日～平成12年12月2日

梶 浦 一 成 〒302-0023 取手市  
海老原 い ね 〒312-0033 ひたちなか市  
櫻 井 仁之助 〒310-0815 水戸市

訃 報

(敬称略)

友部町	桜 井 たま子 (12. 5. 20)
総和町	新 井 音 市 (12. 7. 14)
つば市	関 忠 男 (12. 9. 18)
潮来町	関 口 貞 夫 (12. 11. 12)
水戸市	坂 本 俊 雄 (12. 11. 20)



上記の5名の方々が死去されました。ここに、ご逝去を悼み、謹んで哀悼の意を表しご冥福をお祈り申し上げます。

再生医療 人工的に培養して作った細胞や組織、生きた細胞を組み込んだ医療器具（バイオデバイス）などを体内に移植し、傷ついた臓器や組織を再生し、回復させる医療。薬による治療や、臓器移植に代わる医療としても期待されている。

た。特許出願済みで「成立すれば極めて基本的な特許になる。三年以内の人体への応用も可能だ」（笹井教授）という。

パーキンソン病は脳内の一部の神経が変化、ドーパミンの量が減って運動機能が衰える病気。薬での治療方法があるが、数年で効果が衰えることがある。協和発酵は「パーキンソン病患者に人間のES細胞から作った神経細胞を移植すれば、根本的な治療になる可

特に、一九九八年に米ウイスコンシン大の研究グループが人間の受精卵から万能細胞（ES細胞）を作り出すことに成功してから世界中で急速に研究が進み始めた。治療用の細胞や組織、臓器が開発されれば、新ビジネスとして大きな市場が生まれるとみられている。

能性がある」としている。企業が再生医療に注目するのは既存の医療を根本から変える可能性があるからで、皮膚や血管、筋肉、肝臓やすい臓などの臓器と骨の再生研究が進んでいる。

特に、皮膚の細胞を増やす「培養皮膚」は製品化が間近。バイオベンチャーのジャパン・ティッシュ・エンジニアリング（JTEC）は、愛知県蒲郡市、小沢秀雄社長は「口の中の粘膜細胞から培養皮膚を作る技術

を開発、重傷のやけど患者らの治療を目指している。コンタクトレンズメーカーのメニコン（名古屋）も今夏、培養皮膚専用の製造施設の建設に着手、将来は角膜培養も手掛ける。

ガンゼは鈴鹿医療科学大と共同で生体内で溶ける高分子を開発、あごの骨を再生させるための「型」を作った。あごの骨を切除した患者に骨を再生させるための細胞を埋め込む治療で、活用が始まっている。

再生医療は、他人からの移植手術や人工材料を使った臓器・組織による治療などに代わって拡大する可能性が高い。「二〇一〇年には日本で年八千億円、世界では同四兆五千億円の潜在市場がある」（JTEC）との見方もある。

もあるため、人のES細胞の取り扱いには法律・倫理面を含め、世界各国で慎重に議論が進められている。

米では八月にES細胞の研究を条件付きで解禁、国立衛生研究所（NIH）に政府が資金を拠出すると発表。英国でも法案作りが始まり、人のES細胞の研究は解禁に向かっている。

日本でも政府が今国会に「ヒトに関するクローン技術等の規制に関する法律案」を提出。科学技術庁ではクローン規制法の成立に合わせて胚研究の指針を年内にも策定する予定。

# 法的整備課題に

米国では再生医療ビジネスを手がけるベンチャー企業が続々誕生している。シエロン社（カリフォルニア州）は万能細胞（ES細胞）を使った臓器作りを目指

し、オルガノジェネシスマサチューセッツ州）は培養皮膚を製造・販売している。米店頭株式市場のナスダックなどに公開している企業は十社を超え、「市場の関心

も高い」（シエロンのトーマス・オカーマ社長）と語る。ES細胞は受精卵が成長してできる胚の一部から取り出した細胞。胚からはクローン人間ができる可能性

「ヒトに関するクローン技術等の規制に関する法律案」を提出。科学技術庁ではクローン規制法の成立に合わせて胚研究の指針を年内にも策定する予定。

場が拡大する可能性は大きい」（協和発酵）という。

2000年(平成12年)10月26日(木曜日)

# 再生医療ビジネス始動

## 協和発酵・京大など脳の神経細胞培養

### パーキンソン病 根本的治療に道

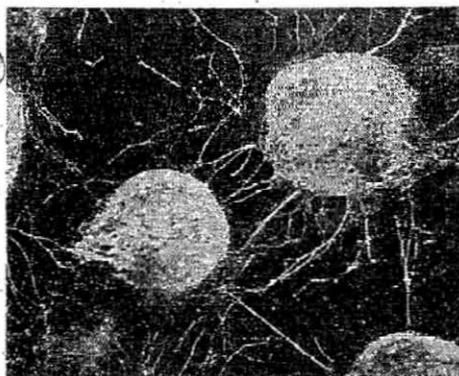
製薬会社やバイオ企業が病気を治すことで傷ついた人の臓器や組織を人工的に培養した細胞を使って治療する「再生医療」の研究・事業化に乗り出した。協和発酵は二十五日、京都大学と理化学研究所と共同でマウスの胚(はい)から取り出した万能細胞(ES細胞)で脳の神経細胞を作り出すことに成功したと発表した。

この技術を活用すれば、脳の病気であるパーキンソン病の根治療法になる可能性があるという。再生医療は血管や心臓などでも研究が進んでおり、国内の市場規模は将来、年間八千億円になるとの試算もある。倫理・法制度など課題も多いが、海外では企業化が進んでおり、日本でも二十一世紀の有力市場になりそうだ。

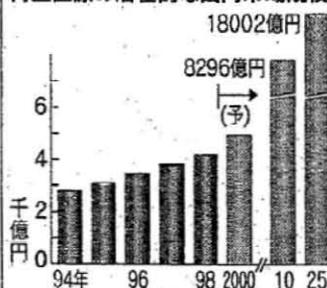
### 「培養皮膚」開発も相次ぐ

協和発酵と京大の植井芳一が開発したのはマウスのES細胞を分化させる方法。マウスの特定の神経細胞に変

培養した神経細胞の3割がパーキンソン病の治療に必要な物質を作った



再生医療の潜在的な国内市場規模



(出典:矢野経済研究所の資料をもとにJ-TECが作成。98年までは人工関節・臓器などの市場)

胞を培養すると、約一週間でほぼ全細胞が神経細胞に変化した。このうち約三割の細胞がドーパミンと呼ばれる神経伝達物質を作り、マウスの脳に戻しても働き続けることを確認した。

ES細胞は皮膚や神経、血管など様々な組織に育つことが理論的には分かっていた。しかし六月に米で神経への変化に成功した例でも複雑な工程と約一カ月の時間が必要で実用化は難しかった。研究チームは骨髄細胞の中に神経を育てる物質があることを突き止め、簡単な再生方法を開発し

# パーキンソン病に効く細胞

## 万能細胞から作る

からだの動きが制御できなくなる神経の病気パーキンソン病の治療に役立つ細胞を、あらゆる臓器や組織の細胞になる潜在能力があり、「万能細胞」の異名をもつ胚性幹（ES）細胞からつくることに、笹井芳樹・京都大再生医科学研究所教授らがマウスの実験で成功した。二十六日発行の米専門誌「ニューロン」に発表する。共同研究した協和発酵は特許を出願済み。損なわれた組織や臓器を人工的につくる再生医療の可能性を示す成果といえる。

（3面に解説）

## 京大教授ら成功

## 動物で 人へ応用視野

パーキンソン病が脳の神経伝達物質ドーパミンの不足で起ることは、ノーベル医学賞を受賞した今年受けるA・カールソン博士らの研究でわかっている。脳に入るとドーパミンになる薬が治療に使われるが、長く続けると効果が弱まるなどの難点がある。欧米では中絶胎児の神経細胞を移植する治療も試みられているが、一人の治療に約十人分の中絶胎児が必要で、提供者不足や倫理面の問題がある。

笹井教授らは、大層に細胞を増やせるES細胞に着目。マウスのES細胞を移植したところ、パーキンソン病に似たマウスに移植すると、二割程度は二週間後も生き残り、移植に成功したことを確認した。

この方式を人の治療に使う場合は、人のES細胞から同様の細胞をつくる必要がある。笹井教授は「サルのES細胞を使う実験を進め、人の治療に応用できることを示したい」と話している。

## 万能細胞の利用へ一歩

〈解説〉あらゆる臓器の細胞になる可能性を秘めていることから未来の医療を一変するともいわれるES細胞。しかし、臓器までつくるのは技術的に難しく、応用の第一歩は、神経や筋肉などの特定の細胞に分化させて使う「細胞移植」になると予想される。この分野の研究競争は激しくなっており、今回の成果もその流れの中にある。

これまで米国などで報告された、ES細胞から神経細胞をつくる方法は、奇形を起す恐れのある物質を使ったり、工程が長く複雑だったりするなど安全や効率の面で問題があった。京大グループは今回、胎児の神経細胞ができる環境を試験管の中に再現することを狙った。「自然に近い方法」といえる。

今回の成果は、神経や筋肉などの特定の細胞に分化させて使う「細胞移植」になると予想される。この分野の研究競争は激しくなっており、今回の成果もその流れの中にある。

（科学部・瀬川 茂子）

# 脳神経細胞生成に成功

## パーキンソン病治療に「光」

京大グループ  
マウスで実験

マウスの胚性幹細胞（ES細胞）を使い、試験管内で効率よく神経細胞を作る新技術「SDIA法」の開発に、京都大再生医科学研究所の榎井芳樹教授（再生統御学）らのグループが成

功した。この細胞からさらに神経伝達物質ドーパミンを放出する中脳神経細胞を作り出すことも成功し、ドーパミンが欠乏することで運動機能障害を起こす難病、パーキンソン病の移植治療に道を開く成果として注目される。論文は26日発行の米科学誌「ニューロン」に掲載される。

榎井教授らは、神経への分化を阻害する物質（BMP4）を含まない培養地で、マウスの骨髄中にあるストローマ細胞を敷いた上にES細胞を置き、変化を観察した。培養開始4～5日でES細胞の90%以上が神経細胞になり、その約30%が8日目にはドーパミン神経

細胞に分化した。BMP4を含む培養地では、ES細胞は神経にならずに皮膚の表皮細胞に分化した。こうしてできたドーパミン神経細胞をマウスの脳に注入すると、2週間後には約2割の細胞が生き残った。米国の研究グループが

別の方法で実験したケースでは、ドーパミン神経細胞が生じるのに24日以上を要し、分化の頻度は7～30%にとどまったという。

欧米ではパーキンソン病の治療に中絶胎児の脳を材料にした細胞移植の研究が行われているが、細胞供給

と倫理の両面で大きな問題を抱える。榎井教授は「日本でヒトES細胞利用のガイドラインが成立すれば、サルを使って効果・安全性を厳しくチェックした上で、ヒトへの臨床応用の研究に進むことになる」と話している。【富永 浩三】

## 事務局だより

- ◇ 只今、取り組んでいます。総合的難病対策の早期確立を要望する請願書とパーキンソン病患者・家族の医療生活の質向上(QOL)に関する請願書・陳情書について会員の皆様には大変なことと思いますが、趣旨をご理解くださいますて、宜しくご協力をお願い致します。
- ◇ 会費のお忘れになっている会員の皆様、納入をお願い申し上げます。
- ◇ 平成13年3月に、つくば地区に於いて日本イーライリリー社の協力でパーキンソン病シンポジウム(仮称)を計画して居ります。詳しくは追ってご案内致します。
- ◇ 来年(平成13年)の定期支部総会は、4月8日(日)に県総合福祉会館4階で順天堂大学神経内科の水野先生をお招きして開催する予定です。
- ◇ 第25回定期全国総会・全国大会を平成13年5月21日(月)～22日(火)に南紀白浜「コガノイ・ベイホテル」(和歌山県西牟婁郡白浜町)で開催致します。

### 編集後記

今世紀もいよいよ僅かになりました。何かと気忙しい時期です。寒さも加わり、私たち患者は大変な季節になりました。21世紀は希望に満ち溢れた世紀になることを祈りつつ迎えたいと思います。(S)

編集者	全国パーキンソン病友の会茨城県支部 〒315-0018・茨城県石岡市若松1丁目7-5 TEL&FAX: 0299-22-5580 メールアドレス: syosan@polar.ocn.ne.jp 郵便振替口座番号: 00300-4-38042
発行者	特定非営利活動法人・障害者団体定期刊行物協会 〒157-0073・東京都世田谷区砧6-26-21 TEL: 03-3416-1698 FAX: 03-3416-3129 (頒価300円)